

# 発酵熱からの火災事例

## 火災概要

刈り取った芝や枯草、木屑等を大量に野積みしていたところ、野積みの一部から出火し、周囲に燃え広がった火災です。

## 原因概要

野積みは 10 年以上前からこの場所に徐々に積みあげられていました。また、火災後に付近の野積み内の温度を測ると、約 50℃ から最高で約 550℃ ありました。

出火の原因は、芝や枯草、木屑等が長い期間積み上げられていたことで、**バクテリア等**の微生物が木屑等を分解し熱を発生させた後、松等の油分が酸化発熱し出火したものと考えられます。



枯草や木材チップなどは圧縮された状態で長い間、放置され水が混入すると熱を発生させます。全国では、不法投棄された木材チップや牧場に放置した牧草ロールからも同様の火災が発生しています。また、この火災が発生すると燃焼範囲が広範囲になり消火が困難で鎮火にかなりの時間を要することになります。

### (類似火災の防止)

- ① 枯草や木屑は長期間山積みで放置しない。
- ② 発酵し煙が出てきたら、直ぐに別の場所へ移動し消火して下さい。
- ③ 火が出たら直ぐに消防署へ通報して下さい。